

第6回（2015年度）助成研究成果表彰 受賞者

助成研究成果表彰は、優れた成果をあげた助成研究者に与えられるもので、本年度も12名の応募があり、技術委員会による厳正な審査により各賞の候補者を選考し、5月27日の第17回通常理事会において3名の方の受賞が決定いたしました。今回、理事長賞には若手助成研究者からの受賞となります。

なお、表彰式・受賞記念講演会は、別途開催する予定です。

1. 理事長賞

賞の性格		環境技術及び学術の進歩を通して鉄鋼業や社会に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。	
氏名	江波 進一	所属	京都大学 白眉センター 特定准教授
助成研究期間	2年間 : 2011年11月～2013年10月		
研究テーマ	PM _{2.5} が人体におよぼす悪影響の分子レベルでの解明		
研究成果	氏らが開発した気液界面での反応が直接測定可能な実験手法を用いて、PM _{2.5} に含まれる鉄イオンとオゾンの気液界面における反応メカニズムを世界で初めて解明された。PM _{2.5} とオゾンと同時に吸引した際の人体への影響を分子レベルで解明されたものであり、今後のPM _{2.5} の評価にインパクトの大きな研究成果が得られている。		

2. 技術委員長賞

賞の性格		環境技術及び学術の進歩に、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた若手助成研究者に贈られる。	
氏名	中山 智喜	所属	名古屋大学 太陽地球環境研究所 助教
助成研究期間	1年間 : 2011年11月～2012年10月		
研究テーマ	産業起源の揮発性有機化合物から生成する二次粒子の光学特性の評価		
研究成果	氏は従来測定が困難であった二次有機エアロゾルの光学特性を光音響分光法やキャビティリングダウン分光法を用いて直接計測することで様々な揮発性有機化合物から生成する二次粒子の光学特性や共存するNO _x の影響などを初めて明らかにされた。今後、産業や自然起源の微粒子の気候変動に与える影響評価などに寄与すると期待される。		

3. 鉄鋼技術賞

賞の性格		鉄鋼環境技術の進歩を通して鉄鋼業に対し、卓越した功績が認められる助成研究成果をあげた助成研究者に贈られる。	
氏名	長坂 徹也	所属	東北大学大学院 工学研究科 教授
助成研究期間	2年間 : 2012年11月～2014年10月		
研究テーマ	電炉ダストのアップグレーディングに関する研究		
研究成果	氏は製鋼電気炉において発生するダストの電気炉へのダストインジェクションによりダスト中のZn濃度を高める改質機構を解明された。ダストを廃棄物ではなく資源として回収するための基礎を確立することができた。		

以上